「個別の指導計画」記入例11

特別支援学級に在籍する小学校5年生の記入例です。

交流学級と一緒に学習している教科については、交流学級の年間指導計画を参 照するようにしています。

様式3は、1学期の評価を受けての2学期の指導目標・指導内容・指導方法を 記入しています。

学年	・組	5 年	組	校長氏名印	担任氏名印	期間		
氏	名					平成	年4月~平成	年3月

	基本的な生活習慣や学		目と手の使い方の学習をとおして、文字を書くことや
教育支援計画	力を身に付け、いろいろ	教育支援計画	計算する力の基礎を習得する。
長期目標	な活動を体験する。	重点目標	
(概ね3年間)	安定した学校生活を送	(概ね1年間)	人とのかかわりを楽しむ経験をとおして、対人関係に
	り、人とのかかわり方を		自信をもつことができる。
	身につける。		

		分にりりる。	
	1		
教	将	児 童 生 徒 の 様 子	年間指導目標
	日	• — · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	・安全に気をつけて歩いて登校する。
	常	・帰りは母親の迎えで帰っている。	・気持ちのよいあいさつをする。
	生	・持ち物の片付けができる。	・交流学級の日課を毎日確認して、連絡帳に書く。
	活	・日課表の確認ができる。	・掃除は、自分の仕事を時間いっぱいする。
	の	・掃除は好きな活動を、自分で決めて毎日行う。	
	指		
	導		
	生	・調理活動など好きな活動を教員と一緒に計画	・調理活動では、先生と一緒に計画を立て、手順にそって活
	活	を立てたり、活動を楽しんだりすることがで	- 動できる。
	単	きる。	-
教	元	・みんなといっしょに行事や校外学習に参加で	 ・運動会、音楽会、校外学習、宿泊学習などに参加し、それ
	学	きる。	らに向けての準備の活動を先生と一緒に、交流学級の中で
	習		する。
		・漢字を書いたり、覚えたりするのを好む。	・ 漢字の習得を増やす。
科		・辞書を引くのが好きで、言葉の知識はある。	- パーパーパーです。 - ・日記などの文章で正しい言葉の使い方ができる。
1-1		・読み取りは苦手である。	日間はこの人事で正のい日来の反い方ができる。
			L ・計算練習を繰り返し、計算力を伸ばす。
١.	7	・文章題を読み取ることが難しい。	・・文章題は、図示や絵に描いて、様々なパターンに慣れる。
	米九	・お金の計算がスムーズにできない。	一・おつりの計算ができるようにする。
		・歌は大きな声でよく歌うことができる。	- ^ の
領		・リコーダーの練習もまじめに取り組める。	・リコーダーの練習を目当てを持って繰り返し、いろいろな
視		・リコーターの練音もよりめに取り組める。	
	楽	・ ・絵を描くことを好む。	曲がふけるようにする。 ・楽しく絵を描いたり、工作したり自分の思いを表現して楽
		・無を抽くことを好む。	
+ -1 :	画		しく作品作りに取り組む。
塭	工		
	作	ウ (ナナシン・ の がわさ マナフ	
	体	・身体を動かすのが好きである。	・友だちの動きをまねて、楽しく運動ができる。
		・ゲームを理解するまでに、支援がいる。	
寺	育		
	道	・友だちとのかかわりがでてきている。	・友だちの気持ちを考えて行動することができる。
	徳	48 - 4 - 50/4 - 50 4 4 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	
		・朝の会の進行、号令かけなど、決まったこと	・当畨の仕事をきちんとこなし、自信をもつ。
	別	は確実にできる。	
	活	・委員会活動で、支援員と活動する。	・自分の仕事を理解し、一人で仕事ができる。
	動		
	自	<生活面>	
	立	・一日の流れに沿って、生活できる。	・安定した気持ちで過ごす。
	活	<行動面>	
	動		・人とのやりとりの場面でその場にあった言葉を使う。
		つながることが多くなってきている。	
		・植物や生き物などに興味を示すことができる。	・理科で自然の観察や実験を支援者と一緒に楽しむ。
そ(か他	・家族や周りの人の生活や、地域のことにも興	・社会で教科書や資料を見て産業や国土の様子に関心をもつ。
		味をもち始めている。	・家庭科で、衣食住や家族の生活に関心をもつ。
			理科、社会、家庭科は交流学級で学習

市立 小学校

		1				1,55 - 2) <u>37</u>	5 5 174
!	学年	∓・組	5 年	組	氏	名						
教	将	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	日常			日にち、み			合食の献立、	、返事、全	今月の歌、	なぞなぞ、	スピーチ	·、運動、
	生	終わりの	会(片付け	トミック、 、明日の子	定)	-						
	活の	身の回り(の整理整頓 の什事、掃	i、衣服の着 除の仕方、	i脱、手洗し 游び方	ハ、トイレ	·の使い方、	食事の仕	·方、歯磨 [·]	き		
	指	時間やきる	まり	12/3/	~~,							
	等	・春を探り	・お母さ	・お父さ	・水遊び	・みんな						・お別れ
	生	そう ・遊具で	んあり がとう	がとう	・誕生会 ・英語活	て游ぼ	・おおい ちょう	遊ぼう ・おおい	・クリス マス会	の遊び ・近隣小		
	活	遊ぼう ・畑を作	・公共施	・誕生会	動 ・調理活	う	バザー	ちょう バザー	・商店街			
		ろう	こう	との交	動(か	ちゃん	備	ルにお	う	・調理活	- /	・調理活
	単	・調理活 動(ホ	植え	流会 ・さつま		ちゃん	そう	店を出 そう	・大掃除 ・英語活			動(ポ ップコ
	元	ットケ ーキ)	・調理活動(お	いもの 苗植え		ありが とう	・大根植 え	・花の苗 植え	動 ・調理活	! ! !		ーン)
	学	' /	好み焼	・調理活		・調理活	・調理活	・調理活	動(ク	 		
	習		き)	動 (ク ッキー)		動 (団: 子)	ウィー	動(豚 汁とむ	スケー	; i i i		
						i ! !	トポテ ト)	すび)	+)	; ! ! !		
	玉	・漢字辞 典	・ことわざ	・漢字辞典の利		・物語文・読み取	・伝記	・説明文・読み取	・物語文 ・読み取	・物語文	・説明文・読み取	
	I	・だいじ	・読み取	用	・読み取	1)	・読み取	IJ	IJ	! ! !	ΪĴ	11-2
		ょうぶ だいじ	・質問の		・ちかい	į	・マザー	・森林の おくり		; i i i	・注文の 多い料	
教	語	ょうぶ		・動物の 体		! ! !	テレサ	もの	 	1 1 1 1	理店	
	算	・小数 ・計算練	・垂直と 平行	・小数× 整数	・変わり 方の決	・小数× 小数	・式と計 算	・計算の 見積		・割合 ・計算練	・円周と 円の面	
IN	71	習	・計算練	・ 小数 ÷	まり	・小数÷	・面積	・分数	をつけ	習	積	
科	数	・復習	習	整数 ・角	・計算練 習	・計算練	・計算練 習	・計算練 習	て ・復習	1 1 1		
		・ビリー	・いつで	<u>・計算</u> ・アジア	・おはや	<u>習</u> ・美しき	・静かに	・秋にさ	・冬げし	・浜辺の	・夕ぐれ	・大空が
	音	ブ ・こいの	もあの	の国々			ねむれ	よなら	き・キリマ	歌	・失われ	
領		ぼり	さしい	・アリラ		・渡り鳥	地球	クライ	ンジェ	うけ		・朝日を
			風に	ン		と少年	・威風堂 々	ネナハ トムジ		・荒城の 月		あびて
域	楽					;		ーク		・スキー の歌		
	図	・自己紹介カー	・母の日 によせ	・父の日 によせ	・夏大好 き	・運動会		・音楽会	・年賀状	・版画	・まめま	・作品つ づり
	二二	ド	7	7	Ċ	 	たよ		 	1 1 1 1	き ・雪遊び	21)
等	作	・体ほぐ	・マット		・水遊び	・体ほぐ	・鉄棒	・ベース	・ゴール	・体力を	・ネット	・ゴール
	体	し ・マット	・とび箱 ・鉄棒	・クロール	・クロール	し ・表現運	・ベース ボール	ボール 型	型 ・跳び箱	高める 運動	型 ・体力を	型 ・体力を
		・とび箱	・短距離	・平泳ぎ	・平泳ぎ	動・短距離	型	・体力を	・マット	・ネット	高める	高める
			走 ・けがの		・表現運 動	走	・跳び箱・走り幅	高める 運動	1 1 1 1	型 ・心の健	運動 ・ゴール	運動
	育		防止			・リレー	跳び		 	康	型 ・心の健	
	. ,	・新しい	・子ども	・いやな	・自分の	・運動会	・だれと	・私の名	・通じ合	・馬のし	康	・インド
	道	友だち	の日	感じ	好きな	に向け	あそぼ	・私の名前	・週し日った心	っぽ	やさし	の夏
		・どの仕 事も大	・母の日 ・電話の		ことを 見つけ	てのや くそく	うかな ・進んで		: 	・継続は 力なり	く ・やさし	・マザーテレサ
	徳	切だ	向こう		よう	i 1 1	手助け しよう		! ! !	I I I	さを忘 れない	
	H.丰	・係を決 めよう		・歯の健	・1学期	・2 学期 のめあ	・目と姿	・忘れ物	・2 学期	・新年の めあて	・男の子	
	特別	・楽しい	のために	康・雨の日		いのの て にナン	勢・大いち	ゼロ作 戦	の反省と冬休	・係を決	子	の以目
	活動	給食	・安全な 帰り方	の過ご し方	みの生 活	・係を決 めよう	ょうバ ザーに		みの生 活	めよう	・お別れ 会につ	
		<生活面		・クラブ		!	向けて ・宿泊学	・おおい	i i	・新年の	いて	・6 年生
	自	・気持ち。	よい挨拶	活動~	活動~	いクラ	習の参	ちょう	振り返	誓い~	~自分	を送る
	自立活動	活	のある生	料理ク ラブで	かかわ	だちと	加~人 とのか	バザー ル~人	って	最上級 生にな	ことか	会 ・卒業式
	動	< 行動面 ・場に合・] > った会話	のかか わり	I)	のかか わり	かわり ・集団生	とのやりとり		るため に	5	
7 0	7 #h	・集団へ(社会科、	の参加	:庭科は交流	学級の年間		活		<u> </u>	<u></u>		
-20	기반	江云什、	上十八多	近付は火河	ナ級の牛口	印旧特引世	こともの。					

学年・組 5 年 組 氏 名

	J -	干・紐) +	紐	□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	<u> </u>						
	ch-						诣	į	- 美	<u>記</u> 録	/==	
4年	牧 斗 手	学期0	D指導目標	指導内	貨内容・指導方法・		て等		導(内 容		評 評 お	価 i 検 討 課 題 (次学期に向けて)
	日常生活の指導	見通し に参加	流れに沿って をもって学習 する。 間を楽しく過	日に知遊すび拡	見せせ時と無しませいと無いる。もにではいる。	ず自課え人るせ声に分変よ楽でにかま楽でにかいています。	ことでは いまめる。 ご遊が のびが	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1	・ 毎ことができる。 ・ 一人をできる。 ・ 一人をでもして、 ・ 校しできる。 ・ でをできる。 ・ でをできる。 ・ できるようになった。	で安心しているのでで、することもので、なからののでが、かっているのでで、かったちので、一切では、かったちので、おかいで、でいるのでで、かったいで、でいるのでで、でいるのでで、かったい。
	生活単元学習	しく感 通しを	やりとりを楽 じながら、見 もなって体験的 をする。	学び気 学活 学活 ・ 造 い 造 い し に り に り に り に り に り に り し り し り し り し	、調理活 けな大切 が持続でで を通して	の動、にき、りす 世な活しる望方る。 関係 である である である である である である である である である である	美と結 と と り い し い し で し に い い る 。 ま う に う に う に う に う に う ま え に う ま ま う ま ま う ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1	・ 積)蓄 ・これまでの学習で た 自分一人でできる こ 自とも増えたが できるだけ支援者 水 がつき、活動を通 は してやりとりの仕
	国語	す。 ・文章を	漢字を増や 読んで内容が きるようにす	・個別 漢字 ・個別 質問	指導で意 の練習を 指導で、 したり答	味を考えた 繰り返す。 文章を読ん えたりして うにする。	って、	3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1	・文字に興味をもっ 意欲的に練習した ・分からない時は、 書を引くように かけた。	って ・日記や作文を書く こ。 ときに、使える言辞 葉を増やしたい。
教	算	・小数のを筆算	かけ算わり算 でする。 平行がわかり、	・個別 に示 を図	指導で、 し、練習 る。	やりかたを を繰り返し 三角定規の	定着	4 3 2	4 3 2	4 3 2	・計算は確実にでき ようになった。 ・垂直、平行な直組	返し練習をして、 自信をつけたい。
	数	自分で	線が引ける。	方に	慣れる。	学習で、み		1	1	1	引けるようになった。 た。 ・交流学級の友達と	活場面で活かされるようにしたい。
科	音楽	うこと ・リコの練 する。	ができる。 ダーなどの楽 習を楽しんで	と声・リコ ける たせ	を合わせ [・] ーダーは 曲を増や る。	て歌う。 個別指導で して、自信	、吹 をも	3 2 1	3 2 1	3 2 1	しく活動できた。 ・リコーダーの練習 自分で目標を決め がんばれた。	に向けて、スモー は ルステップで練習 って を続けたい。
領	図画工作	しく絵 できる	用具の使い方	支援 を見 ・個別 材料	者と一緒 ながら楽 指導では	加できる題 にく活動りで し、 意欲 する。)様子 る。 oすい	4 3 2 1	4 3 2 1	4 3 2 1	・楽しみながら、れよくはとはは、イン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	E品 に描くことができ るので、しっかり 簡 自信をもたせ、楽
域等	体育	やり方 トや跳 ・学級の ールで	級で友だちの を見て、ママ び箱をする。 みんなと、ご 楽しく泳ぐ。	・安をるプー	に気をつ 範させる は個のでは、 をかける。	け、教員の 。支援員か 支援する。 長く泳げる。	ぶよう	4 3 2 1	_	4 3 2 1	・交流学級の友達の り方を見ながら、 械運動をした。 ・手足をしっかり動して友達と競った。	つや ・交流学級での体育 器 に楽しんで取り組 めるので、2学期 か の運動会の練習に こ つなげたい。
	特別活動	康観察 れに飼育 ・飼達と	事で、朝の健忘室、朝の健忘室、一人保健の仕事をいた。	とにほ委を ・	ので持続 る。仕事 る。 会の仕事	で続けていています。 では、いてする。 では、いてする。	よう ことを D、何	4 3 2 1	3 2 1	3 2 1	・係や委員会の仕事 きちんとすること できた。	
	自	つや言 る。	っよいあいさ 葉遣いをす ことは自分で	きは とり ・自分 け	ほめる。 を楽しむ から学習	分からでき 会話を広け 雰囲気を作 に使った物 にする。	がやり る。 7の片	4 3 2 1	3 2 1	3 2 1	・決まったあいされ よくできたしたり、 らしかけたり、になっ できた。	↑か が拡がっているの 話 で大切にしたい。 話 ・テレビや本からの
	立活動	・安定し るよう	た生活が送れ にする。	・落り、 持で き	着かない 話をよく が安定し るように	うとかがけ きいたりし きいたりして する。 変流学	持った , て気 . 行動		4 3 2 1	4 3 2 1	・交流学級の友達が 毎朝、日課の変更 学習の予定を知ら てくれて、迷いな 過ごせた。 ・交流学級との学習	・交流の友達と一緒 でででいることが はく 「情緒の安定につない。 がるので、無理を しないで楽しいか
	動	やし適	りの場面を増 切な言葉や行 方を身に付け	の学 ったを ・望ま	習への参 かかわり 学ぶ。	加など、場方や行動の やかかわり	景に合)しか				・交流子級との子音は、柔軟に対応し	

 (五の指導 ・ (大き) (大き) (大き) (大き) (大き) (大き) (大き) (大き)		学年									
特別の指導目標	•					\rightrightarrows					
中間の流れって学問を持ち、		教科等									
生活 しく感に体験 である。		の指	見通しをもって学習に参加する。 ・遊び時間楽しく過ご	・連絡帳を忘れずに書いて、一 日の見通しを自分でもつよう にさせる。日課変更は早めに 知らせてもらえるようにする。 ・無理強いはしないで、遊びが 拡がり、友だちとの遊びに入	4 4 3 3 2 2						
- 書ける漢字を増やする。 できるようにする。 の 個別指したり名が 理解できるようにする。 の 個別指したり名が 理解できる。 の 個別指したり名が できる。 の 個別指したり名が できる。 の 個別指したり名が できる。 の 個別指したり名が できる。 できる。 の 個別指したり名が できる。 できる。 の の 意味を理解ができる。 でまる。 の できる。 でまる。 の できる。 でまる。 の できる。 でまる。 の できる。 の の の にしてがが 描しいた。 の の にして対けでする。 の できる。 できる。 の の の にしていかが の の の の にしていかが の の の にしていかが の にしていたいの にしていかい の にしていたいの でを安定うにする。 ですないいていたいででないいでは、 の でのよいにいてでいきをとし自付けが なる。 の ででないいでは、 の ででないいでは、 の ででないいでは、 の ででないいでは、 の ででないいでは、 の ででないいでは、 の でのないのはいでは、 の でのないいでは、 の ででないいでは、 の でのないいでは、 の でのないいでは、 の ででないいでは、 の ででないいでは、 の ででないいでは、 の ででないいでは、 の でないいでは、 の でないでは、 の でないいでは、 の では、 の		活単	しく感じながら、意 欲的に体験的な活動	学習、調理活動などの体験活 動が、意欲的に持続できるようにする。 ・かかわりを増やす活動を通して、具体的によい言葉や方法を教え、よいかかわりができ	3 3 2 2	T-4MM1					
中の			す。 ・文章を読んで内容が 理解できるようにす	・個別指導で意味を考えて漢字 の練習を繰り返す。 ・個別指導で、文章を読んで、 質問したり答えたりして内容 を読み取るようにする。	3 3 2 2	14m211					
・歌声に気をつきる。		教	・小数のかけ算わり算 を筆算でする。 ・面積の意味を理解し 値を求めることがで	・個別指導で、やりかたを丁寧 に示し、練習を繰り返し定着 を図る。 ・個別指導で、実際に図形を描	3 3 2 2						
・			・歌声に気をつけて歌 うことができる。 ・音楽会の担当楽器の	わせて歌う。 ・音楽会で受け持つ楽器の練習 をスモールステップで目当て を持って取り組む。個別指導	3 3 2 2	43741					
・交流学級の友達のやり方や動き見ながら目に動きる。 されるようにしています。 できたができるようにしています。 では、いついがは、は、いついがは、は、いっかがははは、いっかがははは、いっかがははは、いっかがははは、いっかがははは、いっかがははは、いっかがはない。 できたとりのようにする。 できだいのははは、いっかがはないできたとりのようにする。 できだいのははは、いっかがはないできたとりのようにする。 できだいのははは、いっかがはないできたとりのがはないでできたというできたがいます。 できないははは、いっかがはないできたというできないがはないがは、いっかがはないがは、できる。 かからにはないがは、できる。 かからにはないがは、できる。 かからにはないがは、できる。 かかわりの場面を増やし適切な言葉やし適切な言葉やしがないは、できるようにする。 できないはは、いっかがはないがは、いっかがはないがは、できる。 できないはは、いっかがはないがは、いっかがははないがは、いっかがはないがは、いっかがはないがは、いっかがはないがは、いっかがはないがは、いっかがはないがは、いっかは、いっかは、いっかは、いっかは、いっかは、いっかは、いっかは、いっか		画工作	ながら、感想画を楽しく描く。 ・材料や用具の使い方	・絵を描くのは好きなので、気 持ちを大切にしながら、楽し く活動させる。 ・個別指導では、表現しやすい 材料を準備し、意欲的に活動	3 3 2 2						
・係の仕事で、朝の健特別ででは、いつでは、いつでとことをほめる。		体	リ方や動き見ながら マットや跳び箱、運 動会の表現の練習を	・安全に気をつけて、模範の動 きを見ながら同じ動きをする ことができるようにする。支	3 3 2 2	<u> </u>					
・気持ちのよいあいさった。		別活	・係の仕事で、朝の健 康観察簿を一人で忘 れずに持って行く。 ・飼育委員会の仕事を	事ができとことをほめる。 ・委員会の仕事では、いつ、何 をどのようにするのか分かる	3 3 2 2	4m212					
・安定した生活が送れ るようにする。 ・かかわりの場面を増 やし適切な言葉や行動の仕方を身に付け 動の仕方を身に付け 動。 る。 で実年行事で表別できまります。 では、一切では、一切では、一切では、一切では、一切では、一切では、一切では、一切		自	・気持ちのよいあいさ つや言葉遣いをす る。 ・自分のことは自分で	きはほめる。会話を広げやり とりを楽しむ雰囲気を作る。 ・自分から学習に使った物の片 付けをし、気持ちよく学習に	4 4 3 3 2 2 1 1						
るが、支援者がつける時には、		活	・安定した生活が送れるようにする。 ・かかわりの場面を増 やし適切な言葉や行動の仕方を身に付け	が安定して納得して行動できるようにする。 ・学年行事や学校行事、交流学級との学習への参加をとおして、場に合ったかかわり方や行動のしかたを学ぶ。 ・学級の児童と一緒に活動でき	3 3 2 2						